



広島中央トピックス

元気な地域づくりへ 女性部通常総会



JA女性部広島中央地区本部は4月14日、高屋支店で令和8年度通常総会を開き、管内9ブロック23支部の代表ら30人が出席しました。今年度は、JAと共に「元気な地域づくり」に貢献し、組織活動を実りあるものにしていくことを申し合わせました。

役員改選では、部長に西条ブロックの渡邊美恵さんを、副部長に向陽ブロックの池野芳子さんと八本松ブロックの古田耐子さんを選任しました。

総会後は、ソフトバンク(株)の樋上真紀さんを講師に、スマホ教室を行いました。検索機能やJAバンクアプリ、詐欺被害を防ぐ方法などを学びました。



▲スマホの使い方を説明する樋上さん

抹茶でおもてなし 西条支店



JA西条支店は4月16日、同支店でふれあい茶席を開きました。年金感謝デーに合わせて行い、多くの来店者ににぎわいました。

お茶席には、地元の上田宗箇流・景山宗紀社中の7人が協力。支店のフロアにお茶席ブースを設け、抹茶とお菓子を来店者をもてなしました。

窓口では、JA口座で年金を受け取っている来店者に、「ココナッツサプリメント」もプレゼントしました。

松田憲治支店長は「来店のきっかけにしてもらえればうれしい。支店独自の企画サービスの提供で、組合員・地域の人に感謝の気持ち伝えたい」と話しました。



▲来店者に抹茶とお菓子をふるまいました

流通センターを拠点に連携を 東広島流通センター 定時株主総会



東広島流通センターは3月下旬、同センターで定時株主総会を開きました。令和7年度の活動報告と決算報告、令和8年度の活動計画などを承認しました。

東広島市副市長で同社の川口一成代表取締役は「地方卸売市場東広島流通センター将来ビジョン2025」を掲げ、「ビジョン達成に向け、令和8年度も関係者一丸となって取り組む」とあいさつしました。

株主の高垣広徳東広島市長は、委託業務内容と費用投資について質問。三原市農林水産課の大久保和通課長は、JAが進める県域流通網構築と連携について質問しました。

JAの佐伯隆弘専務は、広域化したJAの各産直市をつなぐ流通網を令和8年から試験運用するための準備を進めていることを説明。流通センターを拠点として本店営業販売部、地域営農経済センターと連携し、各



▲定時株主総会

地域からの集荷や配送が可能となる流通網構築を検討していることを伝えました。流通網が整えば、販売拠点の拡大やコンテナ出荷による省力化、生産拡大、分荷委託(市場・産直市・学校給食向け)が可能となり、生産者の所得向上、JA広域合併のスケールメリットの構築につながります。



水稲

分けつ期の管理

6月に入り、ほとんどの圃場で田植えが終わったことと思います。これから梅雨の時期を迎え、気温、湿度が上昇し、稲の管理にも注意が必要です。今月は分けつ期の管理と、この時期の病害について説明します。

◆分けつ期の水管理

分けつとは、茎の根に近い節から新しく茎が発生して増えることです。稲には有効分けつ(穂になる茎)と無効分けつ(穂にならない茎)があり、安定した収量を確保するには有効分けつを確保しなければなりません。

有効分けつ期は田植え後約1カ月で、この時期は根が伸び、茎数が増えていきます。この時の水管理は水をためたままにせず、落水と入水を繰り返す間断灌漑を行い、土壌中へ酸素の供給と根の発育を促進して過剰な分けつを抑えてください。落水は足跡に

水が残る程度にします。

無効分けつが多いと生育に無駄が生じてしまい、有効分けつに十分な栄養が行き届きません。これは収量や品質の低下、倒伏の原因となります。目標茎数が確保できたら水田を乾かす中干しを行い、無効分けつを抑制しましょう。

また、稲の葉先が黄色に変色する「赤枯れ症」が発生した田は早めに「間断灌漑」を行い、土中のガス抜きをしましょう。ガス沸きにより早めに落水しなければならなかった田では除草剤の効果が切れている可能性もありますので、後発雑草を繁茂させないよう後期除草剤の使用も併せて考えましょう。

◆中干しの効果と程度

中干しにより今まで還元状態にあった水田の土中に空気を入れ、根の健全化をはかります。

中干しを始める時期は、茎数で判断します。目標茎数の8割確保できていれば始め、2週間程度継続します。

●目標茎数(中干し開始)本数/1株

コシヒカリ	20	22
あきさかり	23	25
中生新千本	23	25
あきるまん	20	22
恋の予感	20	22

●中干しによる効果

- ① 田面を固くすることで収穫期の落水を適期に行うことができる。
- ② 土を乾かすことで窒素分が発現、追肥と同様の効果が得られる。
- ③ 根腐れを防止することで今後の生育が良好になる。

などがあげられます。

●中干し終了

中干しを終了する時期は、出穂の1カ月前が目安です。稲が穂を作り始める時期(生殖生長期)に中干しを行うと根を傷めることとなります。

さらに高温期では品質低下の原因ともなります。出穂1カ月前になったら湛水状態と落水状態とを数日おきに繰り返す間断灌漑を行い、適度に酸素を供給し、根の力を落とさないようにしましょう。また、強すぎる中干しは根の切断を招くなどの弊害がでるため注意してください。中干しを行うと、これまで長期にわたって効果があった一発除草剤の効果は切れます。ノビエや雑草の発生をよく観察し除草剤などで対策を行いましょう。

●ノビエ等に対する農薬と使用方法

- ・トドメF1キロ粒剤

移植後14日ノビエ5葉期まで、但し収穫50日前まで

- ・トドメMF乳剤

移植後14日ノビエ7葉期まで、但し収穫50日前まで

●広葉雑草対策

バイスコーパーキロ粒剤：
移植後14～60日 但し収穫45日前まで

◆いもち病

いもち病は、苗、葉、穂などの各部位に症状が現れ、稲の全生育期間において発生する病気です。いもち病は、稲の水滴にいもち病菌が付着することで発生します。冷害、長雨、高湿などの気象条件も大きく関係しており、特に梅雨時期は注意してください。いもち病の斑点の発生を確認したら早急に防除を行いましょう。

●薬剤防除

防除は水稲栽培ごよみを参考に行いましょう。

- ブラシン粉剤DL
3～4 kg/10a
 - ブラシンフロアブル
1000倍/10a
- いずれも収穫7日前まで

※近年、紋枯れ病の発生も多くなっています。よく観察し早めの防除に努めましょう。

※農薬の使用については、必ずラベルを一読し誤った使用をしないようにしましょう。

栽培管理・農薬については、地域のアグリセンター・営農指導員にご相談ください。

野菜

夏野菜の管理

夏野菜の定植も終わり、今月からは整枝や誘引などの管理が中心になります。今年は雨が多いものの気温が高めに推移したため、夏野菜の生育は旺盛気味だと思えます。枝葉が茂り過ぎると病害虫の発生要因となります。込み合う枝は早めに取り除くと傷口が小さくなるので株を傷めません。

また、夏野菜の病害のほとんどが根腐れなど土の過湿に由来するものです。排水対策は万全にしておきましょう。

◆タマネギの収穫（晩生種）

6月はタマネギ（晩生種）の収穫時期になります。

●収穫時期の見極め方

茎葉が圃場全体の約7〜8割倒伏した頃が収穫の目安です。晩生品種の収穫時期は梅雨入りしていることが多いため収穫適期の判断が難しい時期ですが、できる限り雨の合間を縫って収穫し、3日程度圃場で乾燥させます。

●貯蔵

天日干しが終わったら結びやすい数に結束し、風通しの良い場所で吊るすなどして保管します。

●ワンポイント〜貯蔵中の病害を抑制！

タマネギの貯蔵中に腐敗して落下したり、タマネギの内部が黒く変色するような症状を経験したことはありませんか？これらの症状は「小菌核病」や「灰色腐敗病」という病気の一種です。

特に降雨が続いて湿度が高い時に収穫すると発生が多いため、気になる場合は次の薬剤を散布すると病害の抑制効果が期待できます。

【トップジンM水和剤】

倍率：500〜1000倍

使用時期：収穫前日まで

使用回数：6回以内

◆ピーマンの管理について

ピーマンは乾燥・過湿ともに嫌うとてもデリケートな野菜です。葉がピンと立っているようなら問題ありませんが、しなだれているようなら土の湿り具合を確認し、水やりの間隔を加減してください。

また、枝がVの字に分かれながら生長するので内側に向かって混んでくる枝を取り除くことで結果数を制限し、元気のよい株を保ち続けることができます。ピーマンは伸びた枝元をひねるとポキッと簡単に折れるので気づいたときにこまめに行いましょう。

◆ナスの管理について

昔から「親の意見とナスの花は千に一つも無駄はない」と言われてきたほど、開花した花のほとんどに実がつきます。したがって、ナスの管理の基本は樹勢を衰えさせないことです。土壌水分は湿潤に保ち、肥料は切れないように細かく追肥を与えます。

どの果菜類でも同じですが、樹勢を回復させるために一番効果が高いのはこまめに収穫することです。植物は花から果実、中の種子が充実するまでに最も株の養分を消費するので、特に樹勢が弱ってきたら早めに収穫しましょう。

せっかく苗から育てたならできるだけ長く楽しみたいためです。樹勢は枝が垂れ下がると弱くなり、逆に立勢なら強くなります。枝先が下がらないように支柱で支えましょう。取り遅れて果実が長くぶら下がっていると枝が下がるので樹勢が弱くなる要因になります。夏の果菜類はとにかく早めに収穫することが大切です。

◆カボチャなどウリ科植物の管理について

最近では品種改良によりカボチャの味が良くなっています。広島中央地域では「イーティ」や「栗五郎」など栗味系のカボチャを生産者におすすめています。糖度が高く、ホクツとした食感があるため、お菓子作りにも活躍

しているようです。

昨年の夏も暑い日が続きました。日焼け果を防止するため果実に新聞紙や刈草などをかぶせるとよいでしょう。また、果実を直接土に接しないように卵のパックなどを敷くと良いでしょう。

◆主な病害虫

・アブラムシ
ほとんどの野菜に寄生し、病気を媒介します。発見したら早目に防除をしましょう。

・ヨトウムシ・コナガ
果実を食害し、多大な被害を与えるので発見したら早目に対応しましょう。

・ウリハムシ
成虫はオレンジ色の甲虫で幼虫は根を食害し、成虫は葉を食害します。

・ベト病
梅雨時期特有の病気で高温、多湿時に多発する傾向があります。予防が大切です。

◆病害虫防除

農薬には、殺虫剤・殺菌剤などの種類があります。何が原因で野菜が弱っているかよく観察し、農薬を上手に使用しましょう。害虫に殺菌剤を散布しても効果はありません。使用前にはラベルを一読し、誤った使用が無いようにしましょう。

東広島市による「地域グループ営農」団体への支援制度のお知らせ

【対象】 集落内の3戸以上かつおおむね3ha以上の集積を行い、共同利用、共同活動、地域農業の継続に取り組む団体で、JAが認定するグループ

【認定に関するお問い合わせ先】 JA広島中央地域営農経済センター TEL(082)423-5913

【申請方法】 申請書(東広島市役所農林水産課に設置、市ホームページからもダウンロード可)に必要書類を添付して提出。※必ず事業実施前に申請してください。

事業	内容	補助金額	締切
地域グループ営農支援事業	共同利用する農業用機械などを購入するための経費の一部を補助します。	対象経費の2分の1 (上限200万円)	6月30日(火)
農地保全・景観形成推進事業	農地等の畦畔・法面に植栽するための経費の一部を補助します。	対象経費の3分の2 (上限90万円)	随時
有害鳥獣防護さく設置事業	有害鳥獣による農林産物の被害を最小限に抑えるため、防護さくを設置する経費の一部を補助します。	対象経費の3分の2 (上限25万円)	随時
地力増進支援事業	堆肥投入に係る経費の一部を補助します。	堆肥購入費の1/2以内1t 当たり3,500円が上限 (上限額50万円)	随時

※農地保全・景観形成推進事業及び有害鳥獣防護さく設置事業は、地域グループ営農団体以外も対象になります。ただし、補助要件が異なる場合があります。

アグリセンター 棚卸による休業のお知らせ

棚卸に伴い、まことに勝手ながら**6月30日(火)**はアグリセンターを休業させていただきます。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

広島中央地域 アグリセンター 休日のお知らせ

【6・7月】 土曜日・日曜日・祝祭日は休業します。

肥料や農薬、生活資材をご自宅にお届けすることも可能です。お近くのアグリセンターにご相談ください。

東広島市
園芸センターより

農薬危害防止運動の実施について

農薬を使用する機会が増える6月から8月は、農薬危害防止の重点期間です。農薬の適正使用・保管管理の徹底について、改めて確認しましょう。

①農薬危害防止講習会

県内各地で開催されます。詳細は広島県ホームページでご確認ください。



②農薬を散布する前に

- 農薬を使用する場合は、事前に周辺住民の方や近隣の農作物栽培者への周知を徹底する
- 農薬のラベルを必ず確認する
・適用作物 ・使用量 ・希釈倍率 ・使用時期 ・使用回数

③散布する時は

- 近接する農作物や住宅地周辺、蜜蜂等への農薬飛散防止対策を徹底する
- 防除衣、農薬用マスク、保護メガネなどの防護装備を必ず着用する
- 風量や風向き、朝夕の涼しい時間帯を選ぶなど、気象条件等に注意して実施する
- 連続して2時間以上の長時間の作業は避けて、体調に不良を感じた場合はすぐに止める

④散布が終わったら

- 必ずうがいをし、全身をよく洗う
- 飲酒を控え、早く寝て体力の回復をはかる(肝臓の解毒酵素系へ過剰な負担をかけない)
- 農薬を使用したら、使用年月日、場所、作物、農薬名、使用量、希釈倍率などを記帳する

⑤農薬の保管・管理は

- 食品類と区分して、子どもの手の届かない安全な鍵のかかる場所で保管する
- 農薬を他の容器(清涼飲料水の容器など)に移し替えない
- 万一、盗難や紛失の時は、直ちに最寄りの警察署に届け出る

お問い合わせ

東広島市園芸センター
TEL 082-433-4411

